

分 類	地域で日頃何とかしなければならぬと思っていること (地域生活課題)	現在、地域で取り組まれているないし取り組もうとしている組織的・行政施策などの活動	社協としての方向性及び重点目標 (重点目標は赤字)
支援が必要とされる方たちの暮らしの中身	サロンがない町内での場づくりが必要(残2/6町内中)	土河原・孫代にないため作りたという意見はあるが、リーダーを誰にするかが決まらないまま中断している	・土河原と孫代地区にふれあいサロンを立ち上げる ・筋トレクラブ・百歳体操の拡充
	老人会やグランドゴルフなど集まるきっかけのない地区の高齢者支援が手薄 親の代から住んでいる高齢者の閉じこもりや孤立が目立ってきた(土河原、砂原)	・孫代には老人会がないが、グランドゴルフは自助グループとして活発 ・気になる高齢者には民生委員がささえりあと連携して戸別訪問している	
	日中ひとりになる高齢者が目立ってきた(浜口、孫代)	移動販売車は回ってきているが、知らない人が多いと思う	地元企業の配食サービス、お買い物サポート便利帳の活用、コンビニ等の移動販売の周知啓発
	毎日の買い物の支援を必要とする高齢者が多くなってきた(車がないと生活できない)		
	災害に強いまちづくり	危険地域の情報や地域防災情報が十分に周知されていない	避難所運営委員会の設置あり 1, 3, 5町内は鮎田東小学校 2, 4, 6町内は鮎田中学校
避難経路が不明確(災害の種類や規模に応じた避難経路の検討)		自治会役員等による避難訓練	
水害時に備えた側溝等の掃除が不十分である		市への要望事項	
一時避難所(集合場所)の把握と指定避難所までが遠い		※組織的な対応なし	
大規模水害時の避難所の確保が難しい 避難する場所が少なく地域住民が全員避難出来ない(コロナの影響で定員削減のため)		※自治体対応(今後、校区防災避難計画作りの中で協議)	
鮎田3校区の災害対策を共通課題として話し合う場がない		令和3年度に作る鮎田3校区社協の行動計画を見てから課題として協議する(必要に応じて校区自治協議会の共通議題にする)	
地域を支える条件(担い手、交流、情報)	交通量(熊本新港道路に向かう県道)が増え、高齢者の事故が増えている	子どもの通学路と併せて、日頃から交番や交通安全協会、子ども会、学校(PTA含む)と自治会で危険個所の情報交換を行う(不定期)	・情報交換の回数を増やす ・交通標語やカーブミラー、安全柵の設置等考えられるハード面の要望
	一部地域(町内)の急激な開発に伴い、安心して歩ける歩道がない・少ない		危険箇所のパトロール、その声を自治協議会から行政対応
	校区や地域に関する情報がわかりにくい		社協だよりの初発行
	住宅団地開発による生産年齢人口の増加が著しい地区が散見され、新旧住民の交流に悩んでいる(砂原、八分字地区)	川尻神宮秋季大祭 令和8年度:土河原、令和9年度:正保、十三 ※孫代、砂原、今町は氏子でない	住民同士の交流が図れるような行事の実施を通して、自治会加入を促進するとともに、自治会活動を活性化していく
	自治会役員や民生委員といった地域役員のなり手が少ない	ボランティア(協力者)の数や名簿は作っていない	民生委員OB等に働きかけ、簡単で頻度の少ない活動であれば役に立ちたいと思っている有志による「福祉協力員」(仮称)として委嘱型ボランティア制度を立ち上げることを検討する
	今般の改選で1期目の民生委員が2/3を占め、継続的ななり手の確保が心配		ゴミ出しは「ふれあい収集」制度の利用促進を図る 移動困難者は福祉的課題のある人なので、交通政策ではなく、福祉施策としての視点が大事(デマンドタクシーは使い勝手が悪い)
	ゴミ出しや通院など、制度外サービスの必要性が高まってきた	・各種団体の出前講座及び認知症カフェ等 ・何かの行事と抱き合わせして認知症徘徊模擬訓練をする	
	認知症高齢者への対応がわからない 認知症高齢者が増えはじめ、徘徊通報ネットワークの必要性が高まってきた	鮎田東校区子育て支援ネットワークの発足	
	流入世帯が増えたため、子育て支援者が近くにいない(正保、十三、砂原、土河原)	・子ども会の加入率?活発な地区との違いがある ・「愛の絵本」プレゼントの周知啓発は西と南と歩調を合わせる	・「育児サロンちゅーりっぷ」「愛の絵本プレゼント」はまちづくりセンターだよりや社協だよりでの周知とwebを基本としながら保健師や子供会などあらゆる分野からのPRが必要 ・校区社協だよりによる周知
	新たな世帯流入により子育て世帯の実態が把握できない(個人情報の壁) 子育てサークルの参加者は横ばいしないし減少してきた		
	子どもが地域で集まり、交流できる機会が少ない(孫代、浜口)		児童館の新規設置(ないしは天明地区から鮎田地区に機能移転を要望する)
	「愛の絵本」プレゼントの利用者が少ない		
	児童館が鮎田地区にない(天明あり) 出生児の数に見合った対策がない。新人親子たちは他地区に流れており、要望も多い。		鮎田地区として十分な議論ができていないため、西と南と時間をかけて話し合う必要がある